

もっと兵庫の薬草を知ろう、広めよう、味わおう！

兵庫医療大学との連携で薬草プロジェクトがスタート



研究の趣旨、目的を丁寧に説明していただきました

☆兵庫医療大学 : 薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の3学部4学科を擁する大学。
2007年4月神戸ポートアイランドに開学。
兵庫医科大学(医学部)は同一法人の兄弟校。
☆前田初男先生(副学長) : 生体分析化学
☆戴(だい)毅先生(教授) : 薬物治療学(漢方医学)



グループわの20周年文化祭でも、薬草を紹介いただきました



前田先生の講義より 丹波と神戸の架け橋の役割を

わたしたちは、もっと兵庫の薬草を知ろう、広めよう、味わおうということで、2017年1月から兵庫県の助成を受けてプロジェクト活動を開始しています。

今回のプロジェクトの戦略として、単に大学チームが地域に入るだけでなく、都市展開型を志向し、漢方や健康食材などを都市・神戸に広めるための橋渡しの役割をグループわの皆様担っていただきたいと考えています。このことによって、丹波地域の活性化につなげることが期待できます。



みなさまには薬草の食材活用方法を開発していただいたり、味わっていただきたい。

また、薬草の有効性を検証し、科学的根拠を確立したいと考えていますので、この調査研究についても、みなさまのご協力をお願いしたいと考えています。

1月17日、今年度第2回のジョイラックデイが開催されました。グループわの企画は、兵庫医療大学の前田副学長と戴(だい)教授の二つの講演、そして、食文化専攻出身の会員にお願いして当帰葉(とうきば)を使った豆腐と料理の試食会でした。

講演①「もっと兵庫の薬草を知ろう、広めよう、味わおうプロジェクト」(講師:前田初男先生)兵庫医療大学が進めているプロジェクトにグループわが協力し、当帰葉の薬効確認取組みなどを開始しましたが、このプロジェクトの目的などを詳しくお話ししていただきました。

講演②「健康のために知っておきたい薬草・漢方の知識」講師:戴毅(だい つよし)先生・西洋医学と漢方医学との違いや西洋医薬と漢方医薬との違いなどを初心者にも分かりやすくお話しいただきました。

試食会:当帰葉を使った料理を食文化専攻出身の会員の皆さんに色々作っていただき、講義を聴講後、楽しく、おいしくいただきました。

『漢方薬は副作用がないから安心』といった程度の知識しかない私たちにとって、非常に有意義で興味深いお話を聞くことができました。(報告・浜田)

プロジェクトが目指すのは?

《ポリシー》
知ろう 広めよう 味わおう

《アクションプラン》

- ①薬草の「良さ」を理解してもらう
- ②薬草に対して神戸市民の皆様に関心を持ってもらう
- ③健康食材として薬草の活用方法を開発する
- ④健康食材として薬草の有効性を科学的に検証する

♥プロジェクトのフェースブックを作成しています。「薬草を知ろう」や「兵庫の薬草を知ろう」でネット検索お願いします♥